

平成30年度「地域防災力向上シンポジウム」の実施結果

地域防災室

はじめに

近年各地で、大規模な自然災害や大きな火災などが多発しており、災害による被害を最小限にとどめるために、より一層地域の防災力を高めていくことの重要性が増しています。

消防団を中核として、自主防災組織や、地域住民、企業、医療・福祉等各分野の連携を促進し、地域防災に関する理解を深め、地域の防災力を高めるため、平成30年度消防庁事業として、全国3か所で「地域防災力向上シンポジウム」を開催しました。

各シンポジウムでは、開催地の特性や課題を基にテーマを設定し、今後の地域防災の在り方について、議論を深めました。

1. 栃木

「地域防災力向上シンポジウムin栃木2018」

過去の大災害に学ぶ

～情報を避難行動に結びつけるには？～

日時：平成30年9月29日（土）13:00～17:10

場所：矢板市文化会館（矢板市）

参加人数：約700人

内容：基調講演、事例発表、パネルディスカッション



会場の様子

地域防災力向上シンポジウムin栃木2018の詳細については、消防の動き平成30年11月号トピックスを御参照ください。

2. 青森

「地域防災力向上シンポジウムin青森2018」

地域防災に女性の力を！

～男女が共に支え助け合う防災体制づくり～

日時：平成30年11月20日（火）13:00～16:10

場所：青森国際ホテル（青森市）

参加人数：約300人

【基調講演】

「男女共同参画社会の視点で考える災害対応
～みんなで取り組む地域防災～」

相川 康子 氏

（特定非営利活動法人NPO政策研究所 専務理事）

【パネルディスカッション】

「地域防災への女性の参画の拡充」

コーディネーター：瀧本 浩一 氏（山口大学大学院）

パネリスト：相川 康子 氏、岩本 ヤヨエ 氏（WOMEN'S VISION 代表）、一條 敦子 氏（ふれ～ふれ～ファミリー代表）、山口 香 氏（青森中央高等学校 教諭）、豊島 信幸 氏（青森県危機管理局防災危機管理課長）



会場の様子

そのほか、休憩時間中に、青森中央高等学校、柏木農業高等学校生徒による、両校の取組解説をそれぞれ実施しました。



相川氏による基調講演



柏木農業高校生徒による解説



青森中央高校生徒による解説



パネルディスカッション

3. 静岡

「地域防災力向上シンポジウムin静岡2019」
南海トラフ地震等に備えた地域防災力の向上
～女性・若者をはじめとした地域防災の輪～

日時：平成31年2月3日（日）13:30～17:00

場所：静岡県立大学（静岡市）

参加人数：約700人

【基調講演】

「減災から防災社会の構築へ」

岩田 孝仁 氏

（静岡県防災総合センター長・教授）

【事例発表 1】

「地域と大学を結ぶ防災サークル」

河村 拓斗 氏、勝谷 勇介 氏、上田 啓瑚 氏、櫻木 哲朗 氏
（静岡県立大学学生防災ネットワーク）

【事例発表 2】

「市民に寄り添う消防団を目指して

～女性だからできること・女性でもできること～

廣澤 千衣子 氏（静岡市消防団）

【パネルディスカッション】

「女性・若者をはじめとした地域防災の輪」

コーディネーター：岩田 孝仁 氏

パネリスト：松浦 文信 氏（静岡県消防協会会長）、井上 靖子 氏（静岡県女性消防団員連絡協議会会長）、谷茂樹 氏（藤枝市青葉町中自主防災会会長）、鈴木 政子 氏（静岡県女性防火クラブ連絡協議会会長）、星野 真実 氏（静岡県立大学防災ボランティアクラブ防'z）、松岡 雷太 氏（静岡新聞社編集局社会部副部長）



静岡市消防団カラーガード隊によるオープニングアクト



事例発表1 静岡大学学生防災ネットワーク



会場の様子



事例発表2 廣澤氏（静岡市消防団）



防災パネル展示の様子



パネルディスカッション



岩田氏による基調講演

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部地域防災室
TEL: 03-5253-7561